

LAMP 2015 - The 7th International Congress on Laser Advanced Materials Processing - 第 7 回 レーザ先端材料加工国際会議

レーザ加工学会
会長 片山 聖二
(平成 26 年度国際会議等開催準備助成 AF-2014226)

キーワード: レーザ, マイクロ加工, マクロ加工

1. 開催日時

平成 27 年 5 月 26 日(火)～平成 27 年 5 月 29 日(金)

2. 開催場所

北九州国際会議場

〒802-0001 北九州市小倉北区浅野 3 丁目 9-30

3. 国際会議報告¹⁾

レーザ先端材料加工国際会議 (LAMP)はレーザ加工学会 (JLPS)主催の会議であり、過去に大阪、京都、神戸、新潟などでも開催された。今回は第 7 回目として 2015 年 5 月 26 日から 5 月 29 日にかけて、北九州市の国際会議場にて開催した。会議はマイクロ加工を中心とした LPM (The 16th International Symposium on Laser Precision Microfabrication), およびマクロ加工を中心とした HPL (The 7th International Symposium on High Power Laser Processing) の 2 部門から構成されている。会議初日のプレナリーセッションの講演 3 件 (一般聴講者対象行事), ポスター発表のショートプレゼンテーションおよび最終日のジョイントセッション 5 件を除き, 4 パラレルセッションで開催されるとともに, 中 2 日の昼食時には, ポスターセッションも行った。200 件の口頭発表 (プレナリー講演 3 件, 招待講演 28 件, 一般講演 169 件), 52 件のポスター発表の合計 252 件の研究発表から構成されるプログラムを構成できた。

講演発表の件数内訳はプレナリーセッション 3 件, LPM セッション 146 (招待講演 19 件を含む), HPL セッション 49 件 (招待講演 7 件を含む), ジョイントセッション 2 件 (招待講演 2 件), LPM ポスターセッション 42 件, HPL ポスターセッション 10 件であった。LAMP2015 参加者数 341 名中, 162 名が日本からの参加, 残りの 179 名が海外 24 カ国からの参加者である。参加者数の国別内訳を表 1 に示す。海外からの参加ではドイツが 55 名と最も多く, 韓国が 23 名, 台湾 20 名, 中国 18 名, フランス 10 名, アメリカ 9 名, スイス 7 名, イギリス, インドがともに 5 名, カナダ, リトアニアがともに 4 名, オーストリア, スペインがともに 3 名と続く。それ以外は主にヨーロッパ諸国からであった。韓国, 台湾, 中国を

表 1 国別参加人数

国名	人数	国名	人数
日本	162	スペイン	3
ドイツ	55	ハンガリー	2
韓国	23	イタリア	2
台湾	20	フィリピン	2
中国	18	オーストラリア	1
フランス	10	エジプト	1
アメリカ	9	ギリシャ	1
スイス	7	イスラエル	1
インド	5	ルーマニア	1
イギリス	5	スロベニア	1
カナダ	4	スウェーデン	1
リトアニア	4		
オーストリア	3	合計	341

はじめとするアジア諸国からの講演も多く, レーザ加工技術が確実に我が国の近隣にも普及している。

会議参加者 341 名のうち, 海外からの参加者は半数を超えており, 日本におけるレーザ加工の国際会議としては最大級のものであると評価される。

本会議は, レーザ加工分野において基礎研究者, エンドユーザー, レーザマニュファクチャラーが一堂に会し, レーザ材料相互作用の基礎科学からレーザ加工技術の現状, 次世代のレーザ加工のトピックスまで幅広く議論できる数少ない国際会議であり, 非常に有意義なものであった。今回の会議を通して, レーザ加工を支える科学基盤を確立することはもとより, レーザ加工技術の実用化を制限する要因, それを克服するために必要な将来技術, 将来市場の予測などが明確になり, 社会的にも有益な成果を挙げることができたものと確信している。

謝 辞

本会議を開催するにあたって, 公益財団法人天田財団より国際会議等開催準備助成を賜りました。ここに篤く御礼申し上げます。

参考文献

- 1) Congress Program and Technical Digest of LAMP2015, (2015) in Kitakyushu.